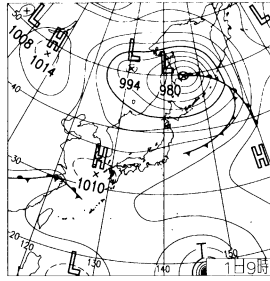


日々の天気図

— No. 32

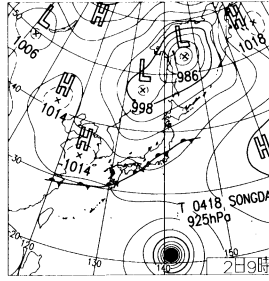
2004年9月

- ・4日～8日、台風第18号により、各地で強風者。7日には台風上陸。今年7個目、過去最多。
- ・12日～13日、暖湿流により、高知県で100 mm/日を超える大雨。
- ・25日～30日、台風第21号と前線により、三重県・奈良県・四国で豪雨。三重県尾鷲市の総雨量904 mm。(気象庁予報部予報課)



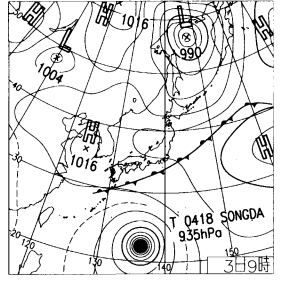
1日(水)浅間山噴火

オホーツク海に台風第16号から変わった発達した低気圧。高気圧に覆われてほぼ全国的に晴れるが、午後は前線の接近で九州から雨。浅間山噴火。防災の日、各地で防災訓練。



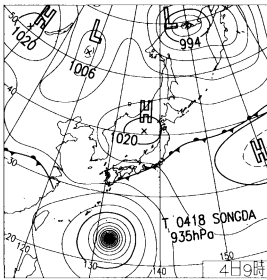
2日(木)本州に前線停滞

停滞前線に沿う東北～九州南部は雨。前線から離れた北海道や九州北部・山陰・関東南部は晴れや曇り。沖の鳥島付近の台風第18号は非常に強い勢力を維持し西北西進。



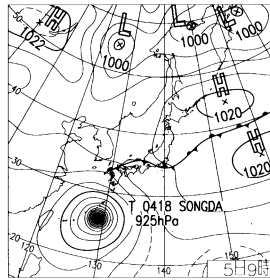
3日(金)最早のヒガンバナ開花

前線は日本の南海上に南下。高気圧に覆われてほぼ全国的に晴れるが、北海道は寒気の影響で日本海側を中心に雨。静岡市・長野県松本市で平年より13～14日早くヒガンバナ開花。



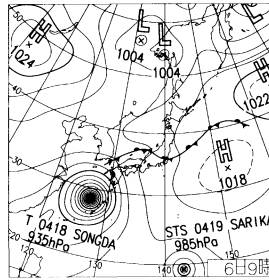
4日(土)関東～近畿激しい雨

前線に向かって南から暖湿気が入る。一方、上空には寒気が入り大気の状態が不安定。関東～近畿の所々で40 mm/hを超す激しい雨。静岡市102 mm/h、長野県南木曾町89 mm/h。



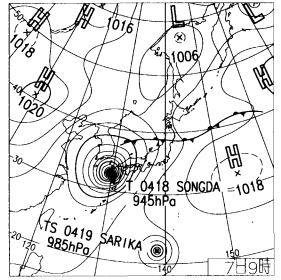
5日(日)台風第19号発生

台風第18号が沖縄本島を通過。沖永良部で最大瞬間風速53.6 m/s、最大風速36.7 m/sの暴風。紀伊半島沖を震源とする地震で、奈良県・和歌山県で震度5弱、串本町で86 cmの津波。



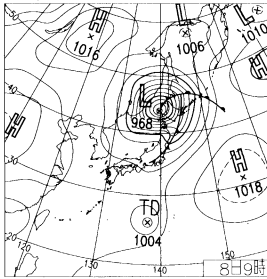
6日(月)九州局地的豪雨

秋雨前線により東北～西日本は曇りや雨。熊本県・宮崎県は200 mm/日を超す大雨。宮崎県諸塚村では45 mm/hを伴う358 mm/日の豪雨。南西諸島は台風第18号により暴風雨続く。



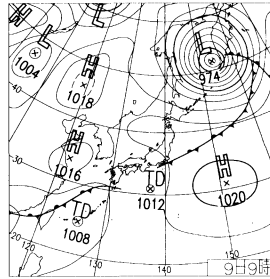
7日(火)今年7個目の台風上陸

台風第18号は長崎市付近に上陸後、日本海を北東に進む。広島市60.2 m/s等、各地で最大瞬間風速の記録を更新し、九州～北陸の広い範囲で強風害。台風上陸7個は過去最多。



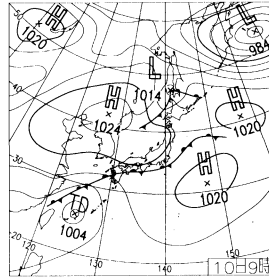
8日(水)台風猛威振るう

台風第18号は日本海を進み、北海道の西海上で温帯低気圧に変わる。北・東日本の日本海側は暴風雨。北海道では、雄武町51.5 m/sなど、各地で最大瞬間風速の記録を更新。



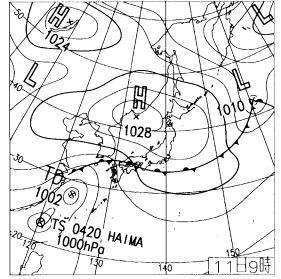
9日(木)北海道強風続く

台風から変わった低気圧がオホーツク海にあり、周辺の海上は大しけ。北海道えりも町の最大風速22 m/s。近畿～関東は晴れ、その他は概ね曇り。大分・新潟でモズの初鳴。



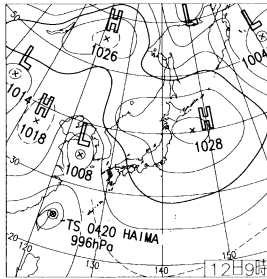
10日(金)前線停滞

前線が本州南岸に停滞し、全国的に曇りや雨。西日本の日本海側は終日雨で、最高気温は平年より3～8℃低い。南西諸島は動きの遅い熱帯低気圧により所々で強い雨。



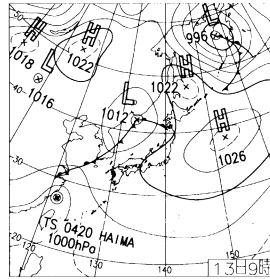
11日(土)台風第20号発生

前線は次第に不明瞭化。ほぼ全国的に晴れるが、九州と紀伊半島の南東斜面は、暖湿気の流れにより一時的に激しい雨。三重県尾鷲市で98 mm/hの猛烈な雨。台風第20号発生。



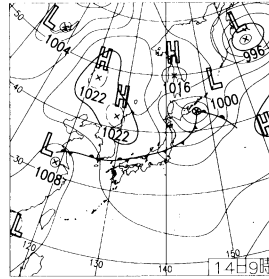
12日(日)高知県激しい雨

日本の東の高気圧に覆われ全国的に晴れるが、紀伊半島から西の太平洋側は、高気圧の縁に沿って暖湿気が入り、曇りや雨。高知県本川村・馬路村では60 mm/hを超える雨。



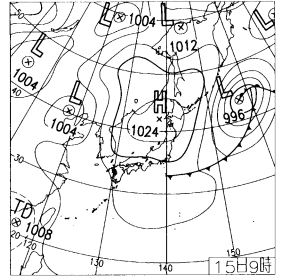
13日(月)高知県強雨続く

暖湿気の流れが続く高知県では、須崎市67 mm/h、中村市65 mm/h等、非常に激しい雨。北海道は低気圧の接近で雨。その他は概ね晴れ。北陸・山陰の最高気温は平年より約5℃高い。



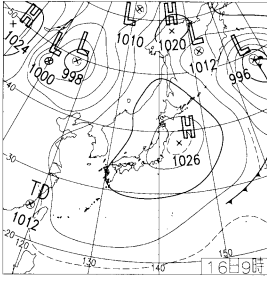
14日(火)浅間山小規模噴火

北海道は低気圧の通過で雨。東北～山陰は前線の南下に伴い午前中雨。富山県砺波市62 mm/h。その他は概ね晴れ。浅間山が9月1日以来の小規模噴火。臨時火山情報発表。



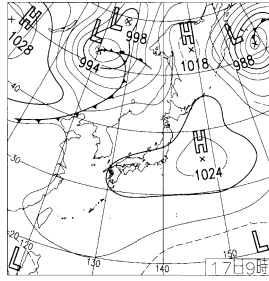
15日(水)西日本残暑

高気圧に覆われほぼ全国的に晴れるが、西日本や南西諸島では午後、にわか雨や雷雨。最高気温は北日本・関東で平年より低く、西日本では2～5℃高い。熊本市34.1℃。



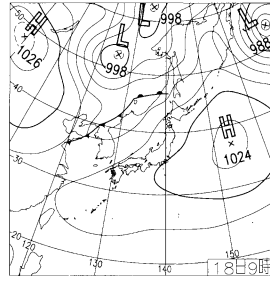
16日(木)高知県西部大雨

北・東日本は晴れ、西日本・南西諸島は、高気圧の縁に沿って暖湿流が入り、曇りや雨。高知県は西部を中心に大雨。佐川町の日雨量262mm。大正町では88mm/hの非常に激しい雨。



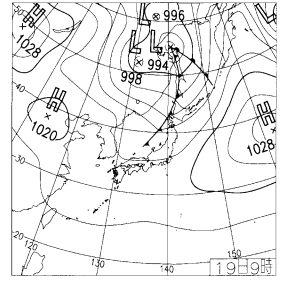
17日(金)関東南部降灰

高気圧は東の海上に進み、東日本は、～近畿が晴れた他は曇り。九州・四国は午後には雨。関東上空の北西風により、浅間山の火山灰が関東へ、東京で1982年以來の降灰を観測。



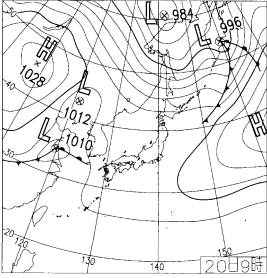
18日(土)浅間山小噴火続く

北海道の一部と沖縄で晴れの他は、気圧の谷の影響で全国的に曇りや雨。浅間山は9月1日以降11回目の小噴火。火山性地震が多発。岐阜市で真夏日の年間日数84日、タイ記録。



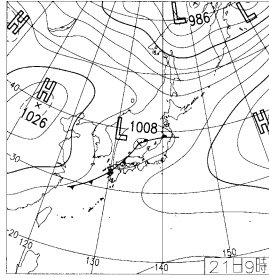
19日(日)熊本真夏日100日目

北陸から北の日本海側や北日本は寒冷前線の通過により雨。その他は高気圧に覆われ、概ね晴れて厳しい残暑。最高気温は熊谷市32.9℃。熊本市は今年100日目の真夏日。



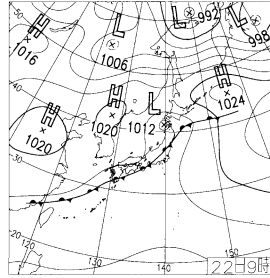
20日(月)東日本曇り空の彼岸

日本付近は弱い気圧の谷。中国・四国以西は概ね晴れるが、その他は曇り。東日本は所々で雨が降る曇り空の彼岸。大阪市と兵庫県豊岡市で真夏日の年間日数記録を更新。



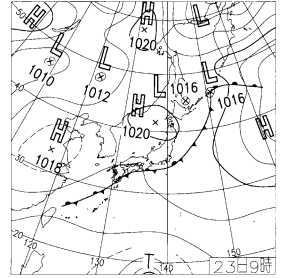
21日(火)東京真夏日の最多記録

日本海の低気圧の影響で、日本海側や北日本は曇りや雨。岐阜県恵那市で45mm/h。その他は晴れ。東京は今年68日目の真夏日となり、年間最多記録を更新。台風第21号が発生。



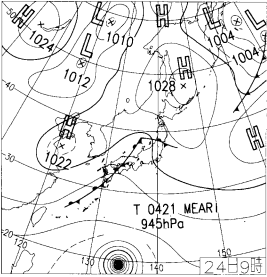
22日(水)関東大気不安定

低気圧や前線の影響で、北日本と日本海側は曇りや雨。関東以西の太平洋沿岸と沖縄は概ね晴れ。関東は午後から大気の状態が不安定となり、埼玉県久喜市で48mm/hの激しい雨。



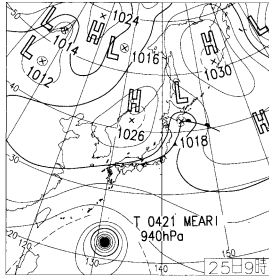
23日(木)中国～九州気温低め

本州南岸に前線が停滞し、九州・中国・四国は雨。北日本は概ね晴れ。その他は曇り。西日本の最高気温は平年より低く、広島市は約6℃低い20.7℃。10月下旬並。



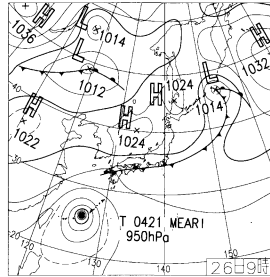
24日(金)三重県猛烈な雨

前線に向かって暖湿気が入り、前線活動が活発化。西日本を中心に所々で雷雨。三重県亀山市で89mm/hの猛烈な雨。最高気温は北陸で高く、新潟市は平年より約7℃高い31.3℃。



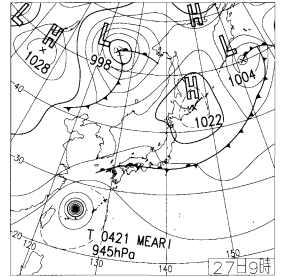
25日(土)関東北部激しい雨

低気圧や前線の通過に伴い、北・東日本は雨。関東北部は夕方から激しい雨となり、栃木県真岡市で75mm/h。沖縄は台風の接近により雨。その他は概ね晴れて気温上昇。



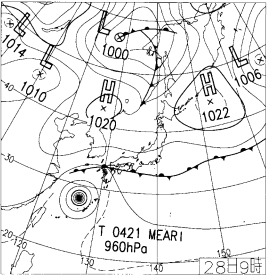
26日(日)沖縄暴風域に

北日本は高気圧に覆われ晴れ。東・西日本は秋雨前線の影響で曇りや雨。台風第21号は速度を落としながら進み、沖縄本島・石垣島は暴風域に。那覇市の最大瞬間風速35.6m/s。



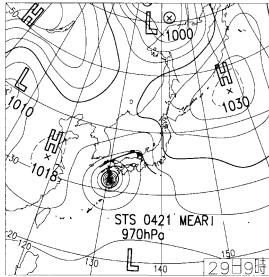
27日(月)沖縄で台風ほとんど停滞

台風第21号は久米島の西でほとんど停滞。沖縄近海は7mを超える大しげ。北海道は高気圧に覆われ晴れ。東北～西日本は前線の影響で曇りや雨。三重県志摩市で日雨量191mm。



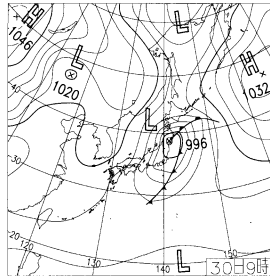
28日(火)前線活発化

台風第21号の北上に伴い、前線の活動が活発化。紀伊半島や四国の一部では、夕方から100mm/3hを超える大雨。三重県宮川村では86mm/hの猛烈な雨を伴い155mm/3h。



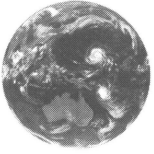
29日(水)紀伊半島・四国豪雨

台風第21号は鹿児島県に上陸後、四国を横断。台風と前線により四国・三重県・奈良県で300mm/日を超える豪雨。三重県尾鷲市の日雨量741mm。三重県・愛媛県は被害甚大。



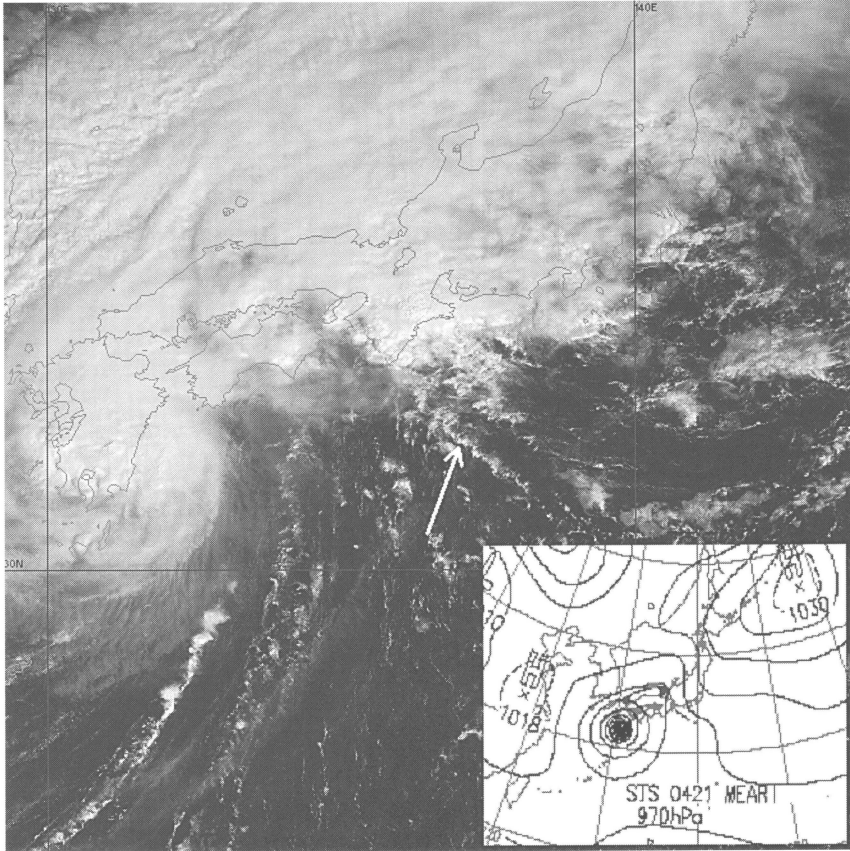
30日(木)東日本以西台風一過

台風第21号は東北地方で温帯低気圧化。北日本や北陸は雨。東北北部は100mm/日を超える大雨で、岩手県種市町では229mm/日。関東以西は午後から台風一過の晴天。



今月の衛星画像—2004年9月

記録的大雨をもたらした前線と台風第21号



2004年9月29日10時の可視画像と09時の天気図

台風第21号は、9月29日8時半ころ鹿児島県串木野市付近に上陸し、今年8個目の上陸台風となった。

写真は台風第21号が九州地方南部を通過中の午前10時の可視画像である。台風本体の雲は主として九州地方だが、これとは別に本州の太平洋側には前線に対応する雲バンドが東西に伸びている。雲バンドの南の紀伊半島沖には雲ライン（図中矢印）が確認できる。この雲ラインは、日本の東にある高気圧から流入する東よりの冷湿な気流と、台風巻き込む南よりの暖湿な

気流の合流する付近にあたっている。雲ラインの指向先となっている紀伊半島付近では特に雲が発達しており、三重県尾鷲市や宮川村では、午前7時頃から10時頃にかけて1時間に130mmを超える猛烈な雨を観測した。

紀伊半島付近は停滞していた前線の影響で断続的な降水が続いていたが、台風第21号の接近による短時間の豪雨が重なり、土砂災害など甚大な災害が発生した。

（気象衛星センター）